

執筆者紹介（五〇音順 肩書きは執筆時）

望月雅士	真辺将之	檜皮瑞樹	西腰周一郎	中川和明	高橋央	島善高	大日方純夫	沖清豪	井上琢智	伊東久智	五百旗頭薫
早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授
早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授	早稲田大学文学部准教授

編集後記

彙報欄でもお知らせいたしましたように、この度、大学史資料センター（以下センター）は東伏見キャンパスに移転いたしました。あらためまして、住所・連絡先を付記いたします。

〒二〇二一〇〇二一

東京都西東京市東伏見三一四一― 東伏見STEP22

電話 〇四二―四五一―一三四三

FAX 〇四二―四五一―一三四七

今回の移転により、センターの収蔵スペースは従来の約一・七倍（四四八坪）となり、より多くの資料を、より安全に収集・保管することが可能となりました。また、レファレンスルーム内の閲覧スペースも拡張され、利便性が向上しています。

さて、本巻では講演会・聞き取り記録が紙数の多くを占めています。大学のアーカイブズ機関であるセンターが、大学にかかわる文書あるいは写真資料等の収集に努めるべきことは論を俟ちません。しかしそれとともに、オーラル・ヒストリーの実践を通じて、音声（映像）資料を後世に伝える方途を探っていくこともまた、アーカイブズ機関の重要な任務の一つです。学徒出陣から七〇年の節目に開催した二〇一三年度春季企画展「ペンから剣へ」は、みなさまから多くのご反響をいただき、これまで知られることなく埋もれていた数々の「声」が寄せられました。我々は、そうした「声」に耳を傾け、記録することの重要性をあらためて認識するとともに、今後校友等への聞き取りを積極的に進めていきたいと考えています。

末筆ながら、本巻編集に当たってお力添えをいただきましたみなさまに、この場をお借りしてあらためて御礼を申し上げますとともに、引き続き関係各位のご協力をよろしく申し上げます。（編集担当一記）